

## 十日町きもの歴史

「きもの街」十日町は、新潟県の南部、魚沼地方の中心に位置する人口約5万2千人の町です。織物一筋に生きてきた十日町は、今では高級絹織物産地として、京都、金沢に次ぐ規模になっています。十日町の織物の歴史は古く、1200年前の飛鳥、天平の昔から野生の苧麻を素材とした麻布の生産が盛んに行われてきました。

江戸時代に入ると、「越後縮」の主産地として知られるようになりました。越後縮は、薩摩上布に次ぐ高級夏織物として珍重され帷子や袴などに使われました。

幕末以降、十日町は絹織物に転換しました。明治20年ごろに、「蟬の羽」と言われるほど薄くて軽い「明石縮」が開発されました。「明石縮」の全国的な普及で、十日町は絹織物産地としての地位を確立しました。

戦後はお召、十日町小絹、縫取りめんが主流になりましたが、昭和34年にマジョリカお召というヒット商品が爆発的な売れ行きを示し産地は大きく発展します。つづいて、新しい略礼装の黒絵羽織を開発すると大変な人気を呼び「PTAルック」の愛称で一世を風靡しました。昭和40年代に入ると、友禅技術が導入されはじめました。

現在、十日町のきものは、振袖、留袖、訪問着、付下といった後染め商品が約8割、紬緋が2割で、年間約50,000点生産されています。

### A 宮本茂十郎碑

文政12年(1829)、西陣の渡り職人であった宮本茂十郎(飯塚茂重郎)が十日町を訪れ、透綾(絹縮)とそれを織る高機たかばたの製法を伝授したと言われています。越後縮産地であった十日町が本格的に絹織物産地へと歩み始めるきっかけとなった出来事でした。ここには十日町絹織物産地発展の功労者 宮本茂十郎の石碑が建てられています。

☑ 十日町市諏訪町208  
(宮本公園内)



### B 御機神社

越後縮の生産地であり集散地であった十日町に、寛政5年(1793)に機神様として黒姫神社(祭神は黒姫大明神)が創建され、織物関係者の信仰を集めていました。しかし、黒姫大明神は神名帳に載っていない民間信仰の神なので、明治16年(1883)の「神社明細帳」には黒姫神社の正式の社名は「機神社」で、祭神は麻績屋媛命あまのりめのみことなどになっています。

☑ 十日町市宮下町東(諏訪神社 境内)  
☎025-757-5102(諏訪神社)



### C 染織工房きはだや

120年以上経過している趣のある家屋にて、手間をかけたモノ作りをしています。主に、江戸時代にかけて伝来した「唐棧」や「更紗」を絹織物で再現し、きものや帯を製作しています。また、大正～昭和にかけて庶民のおしゃれ着として流行した「銘仙」をアレンジした「絲しゃ」や真綿や紬の地風を生かしたマフラーやストールを製作しています。

☑ 十日町市本町2  
☎025-757-1511  
☎ 日曜日・祝日 ※土曜日は不定休  
☎ 9:00~17:00



### D 滝長商店

大正5年創業の染色材料と織物用品の専門店。刷毛、筆、染料や糸巻き機などきもの職人さんの使う材料、道具を扱っています。糸の糊付けに由来する十日町名物、へぎ蕎麦のつなぎ「布海苔」の販売も。

☑ 十日町市本町2-320  
☎025-752-3581  
☎ 日曜日・祝日 ※土曜日は不定休  
☎ 8:00~17:00



### E 和の風

きもの販売のほかに、きもの生地を使った絵葉書や、個性的な柄の風呂敷・手ぬぐいやバッグなどの小物も扱っています。下見、茶飲みも大歓迎。「入りやすい、買いやすい、出やすい」きもの産地のきもの屋さんです。和の風公式Facebookページも随時更新中!

☑ 十日町市千歳町3-7  
☎025-752-0123  
☎ 日曜日  
☎ 9:30~18:00



### F きもの絵巻館

絹織物の産地として知られている十日町市を「きものにおいのする街に」として生まれたのが「きもの絵巻館」です。成人式のお振袖をはじめ、明石ちぢみ・訪問着など多数取り揃え十日町市に伝わる伝統の技を県内外のお客様にお届けしています。

☑ 十日町市寿町3-2-15  
☎025-757-9529  
☎ 月曜日  
☎ 9:30~18:00



### G おとぎの国美術館

「源氏物語」・「百人一首」・「わらべの詩」・「森のどうぶつたち」などの紙ねんど人形が約2,000体以上あるギャラリー。紙ねんどアートの織りなす雅やかな、メルヘンの世界をお楽しみください。

☑ 十日町市寿町4-8 吉澤織物(株)吉彩館2号館  
☎ 月曜日  
☎ 10:00~17:00(予約制)  
料 大人500円 小・中学生300円  
お問い合わせは、きもの絵巻館(025-757-9529)へ



### H 青柳

青柳のきものは、美の素晴らしさや、紬ぎ、受け継がれてきた業わざがあります。一人ひとりの職人の情熱と自然の息吹との相乗効果で生まれる、卓越された美しさ。類まれなる作品の数々が、青柳の伝統と革新を物語っています。

☑ 十日町市栄町26-6  
☎025-757-2171  
☎ 日曜日・祝日 ※土曜日は不定休  
☎ 9:30~17:00

